



寒さが厳しい2月ですが、早くも春の足音が聞こえています。「光の春」という言葉があります。ロシア語が由来で、徐々に日が長く、空が明るくなっていく2月という意味合いがあるそうです。先日のお散歩中に子どもたちは、「わあ、かわいい！」と歓声を上げて、公園のウメやスイセンの花を見ながら、和やかな表情をしていました。冬から春へと変わっていく変化を楽しみ、明るい陽射しを浴びながら、外でたくさん遊びたいと思います。



鬼は外～♪福は内～♪

鬼は怖いけど、アニメの影響もあって、興味津々な子どもたちです。「鬼が来るんだよね～」「お面付けてダンスするんだよね」と楽しみにしていた子どもたち。「今年は鬼の帽子にしよう！」と広告を箱型に折って、好きな色の画用紙で張り子にしました。毛糸を髪の毛にしたり、画用紙や花紙を使ったり、顔のパーツを作って、子どもたちらしさが滲み出た、個性豊かな表情のオニさんたちが完成しました。張り子にするのは地道な作業で、「もう飽きた」「また明日にする」と心が折れそうになる時もありましたが、次第に仕上がりが見えてくると、夢中になり試行錯誤して、大満足の仕上がりになったようです。完成した鬼の帽子を被って、「先生写真撮って」とポーズをとる小鬼ちゃんがたくさんいましたよ♡今から、豆まき集会が待ち遠しいあさがお組です。



～手洗い指導～

看護師より、手洗いの大切さについてのお話がありました。紙芝居でばい菌の絵が出てくると、清潔にすることが健康に繋がることが分かってきている子どもたちは、顔をゆがめながら見入っていました。新しい非接触のハンドソープポンプの導入で、さらにやる気が出る子どもたち。保育室の手洗い場にある、手洗い表を見ながら丁寧に洗っています。今後も健康に気をつけながら元気に過ごしていきたいと思います。



《箸の持ち方》

鉛筆と同様、子どもたちに正しくもってもらいたいお箸。意外にも、補助箸で食べることが出来ても、普通箸を持たせてみると、全然出来ないということがあるそうです。練習は普通箸から使うことをお勧めします。ご家庭で持ち方の確認をよろしく願いいたします。

